

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
なお、中間配当を実施するときの基準日は、  
9月30日といたします。

定時株主総会 毎年6月下旬開催

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)  
なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙  
(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、  
以下の電話及びインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。  
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (東京)  
0120-684-479 (大阪)  
インターネットアドレス  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場

公告方法 電子公告により行います。  
当社ホームページアドレス <http://www.terasaki.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

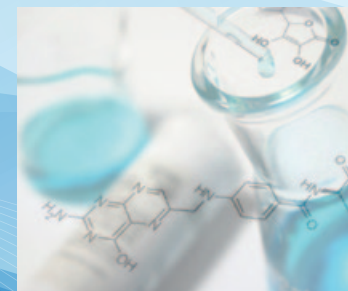
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店で支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.terasaki.co.jp>



 **TERASAKI**



**第36期中間報告書**  
平成27年4月1日～平成27年9月30日

 **寺崎電気産業株式会社**

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町七丁目2番10号 TEL: 06-6692-1131 (代)

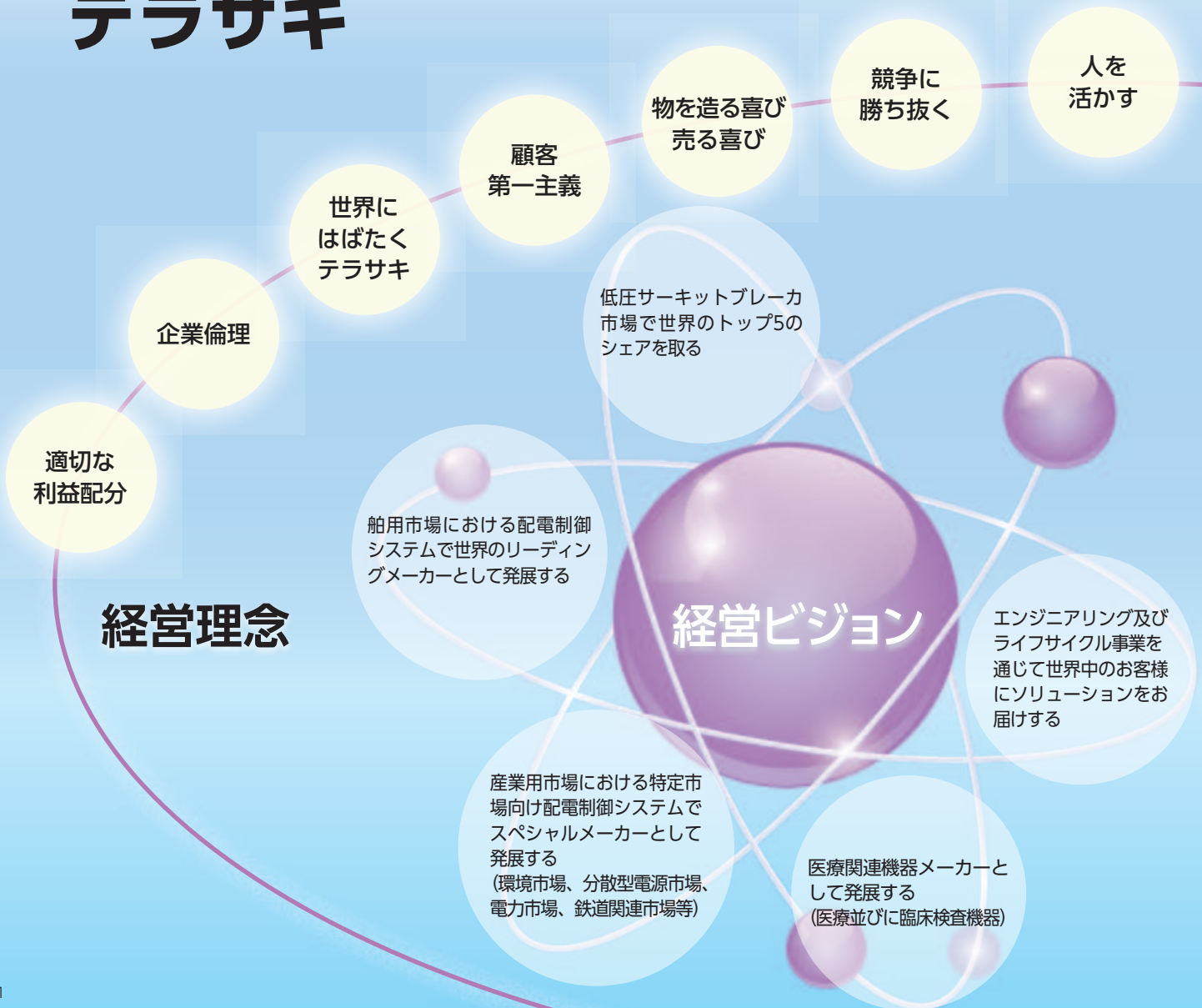
**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



**寺崎電気産業株式会社**  
**TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.**

# 配電制御の革新を続ける テラサキ



株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第36期中間期における当社グループの業績は、受注、売上及び利益の確保にグループ全社員が努めた結果、売上高、利益につきましては、前年同期に比べ増収増益とすることができました。受注につきましては、連結受注高は、中国造船市場の受注量低下の影響等もあり前年同期に比べ若干の減少となりましたが、連結受注残高は、国内の船用部門にて受注を重ねることができたこともあり前連結会計年度末より受注残高を増やすことができました。今後においても、外部環境は中国をはじめとするアジア新興国の景気の減速等により先行きは不透明な状況ではありますが、引き続き受注、売上及び利益の確保に努めてまいります。

今後におきましても当社グループは、グローバルなダイバシティ（多様性）の活用と5つの事業間（船舶用システム、産業用システム、機器、医療関連機器、エンジニアリング及びライフサイクル）において綿密に連携、協業、そしてサポートを意識し実行（TEAM TERASAKI）することで、テラサキグループの一層の成長とグローバル人材の育成に努め、顧客需要創造力のある製品・サービスを提供してまいります。また、国内工場での着実な生産革新活動の継続により生産性を高め、同時進行にて為替中立を目指した積極的な海外生産を進め競争力を高めて、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
寺崎 泰造

代表取締役会長  
藤田 正一



ISO9001認証  
当社は国際品質保証規格であるISO9001の認証を取得しています。  
【対象となる事業所】  
・システム事業：寺崎電気産業株式会社 本社、八尾工場、機器センター及び八尾工場金型加工作業棟、東京営業所、九州営業所  
・機器事業：寺崎電気産業株式会社 機器センター、加美工場



ISO14001認証  
当社は国際環境管理規格であるISO14001の認証を取得しています。  
【対象となる事業所】  
寺崎電気産業株式会社 本社、八尾事業所、機器事業所、加美事業所、テラサキ伊万里株式会社、株式会社那珂深製作所



ISO13485認証  
当社のシステム事業医療機器関連組織は、医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格であるISO13485の認証を取得しています。



OHSAS18001認証  
当社は労働安全マネジメントシステム規格であるOHSAS18001の認証を取得しています。  
【対象となる事業所】  
寺崎電気産業株式会社 本社、八尾事業所、機器事業所、加美事業所、テラサキ伊万里株式会社、株式会社那珂深製作所

売上高	187億87百万円	(前年同期比 2.6%増)	➔
営業利益	12億25百万円	(前年同期比 33.8%増)	➔
経常利益	14億55百万円	(前年同期比 30.4%増)	➔
親会社株主に帰属する四半期純利益	9億42百万円	(前年同期比 8.2%増)	➔

当社グループをとりまく経済環境は、国内における民間設備投資においては、緩やかな回復を続け、海外においても、インフラ市場の需要は新興国を中心に堅調に推移しました。当社の主要顧客である造船業界において、国内においては、船体構造に関わる新規制、窒素酸化物3次規制の適用前の駆け込み需要等を背景に一定量の受注がありましたが、海外においては、海運市況の悪化に伴うばら積運搬船の需要が減少したこ

と等により受注量は大幅に減少しており厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ増加しました。営業利益は、原価低減等の収益改善の効果に加え、原材料価格の安定もあり、前年同期に比べ増加し、経常利益は円高是正の持続により前年同期に比べ増加しました。

製品別



(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。

所在地別セグメントの概況

日本	売上高	107億27百万円	(前年同期比 2.5%増)	➔
	セグメント利益	7億44百万円	(前年同期比 4.7%増)	➔

船舶用システム製品(船舶用配電制御システム等)は、バラスト水処理装置関連向けの売上はバラスト水管理条約の発効遅れもあり減少しましたが、国内船主向けのばら積運搬船の売上が前年同期に比べ増加し、海外造船向け大型タンカーの売上を計上したことに加え、陸電供給システムの売上も堅調に推移したこと等により、売上が前年同期に比べ増加しました。

産業用システム製品(配電制御システム)は、コージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連の売上が引き続き堅調に推移しましたが、納期繰延物件等もあり、売上が前年同期に比べ減少しました。

医療関連機器製品は、医療機器では、客先の需給調整が解消され売上が増加しました。また臨床検査機器では、計画通りの売上に加え、保守部品の納入、納期繰上等もあり、売上は増加しました。この結果、医療関連機器製品全体で売上が前年同期に比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、船舶向けの各種点検、コミッションング作業は堅調に推移しましたが、前年同期は計上があった海外プラント向けエンジニアリングの大型案件が無かったこともあり、売上が前年同期に比べて減少しました。

この結果、システム製品全体の売上は、前年同期に比べ増加となりました。

機器製品(低圧遮断器等)は、国内向けでは、マーケットの停滞により、新エネルギー分野における直流ブレーカの需要を含め売上が減少し、海外向けについても、オセアニア地域、東アジアの船舶市場向けの売上減少等により、機器製品全体の売上は、前年同期に比べ減少しました。

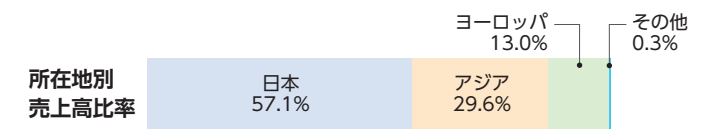
アジア	売上高	55億55百万円	(前年同期比 1.8%減)	➔
	セグメント利益	6億86百万円	(前年同期比 12.7%増)	➔

船舶用システム製品(船舶用配電制御システム等)は、バラスト水処理装置関連の売上は減少しましたが、中国造船市場向けでは、市況の悪化の影響を若干受けながらも、売上は前年同期ベースを維持しました。この結果、売上は前年同期とほぼ横ばいに推移しました。

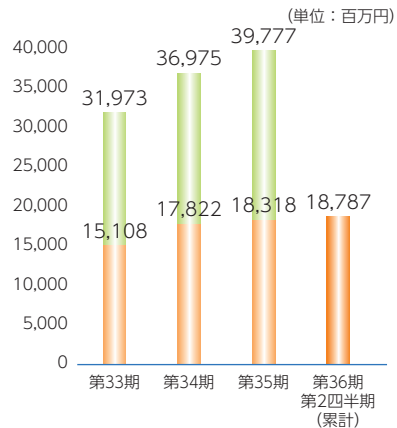
機器製品(低圧遮断器等)は、マレーシア国内向けにおいて、増税による影響で売上が若干減少し、また、アジア地域における日系企業の設備投資の減少などの影響により、売上は前年同期に比べ減少しました。

ヨーロッパ	売上高	24億51百万円	(前年同期比 14.3%増)	➔
	セグメント利益	1億43百万円	(前年同期比 450.5%増)	➔

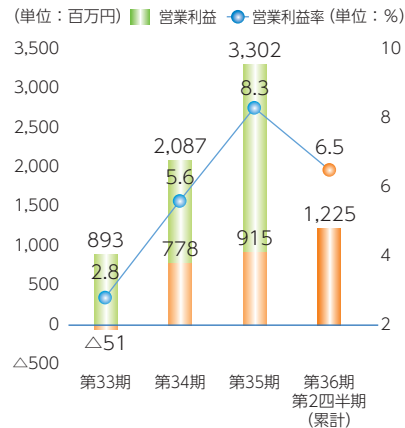
機器製品(低圧遮断器等)は、英国内の売上は減少しましたが、中近東向けが堅調に推移し、ライフサイクルビジネスの売上が増加したことにより、売上は前年同期に比べ増加しました。



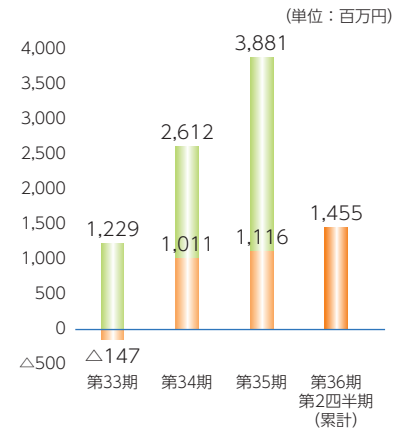
売上高



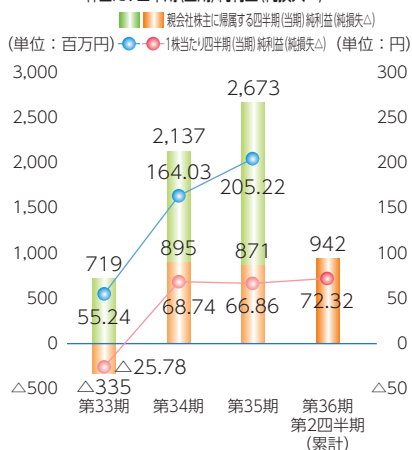
営業利益 (損失△) / 営業利益率



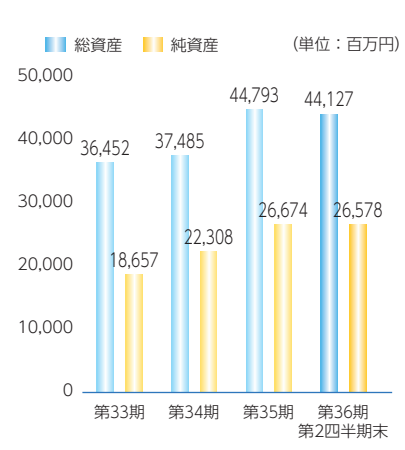
経常利益 (損失△)



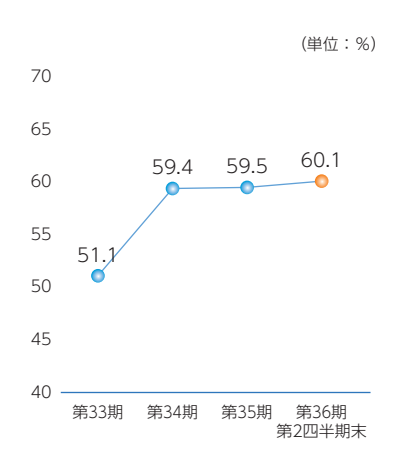
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(純損失△) / 1株当たり四半期(当期)純利益(純損失△)



総資産 / 純資産



自己資本比率



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの科目名も統一しております。

四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	32,146	32,817
固定資産	11,980	11,975
有形固定資産	7,554	7,319
無形固定資産	929	899
投資その他の資産	3,496	3,755
資産合計	44,127	44,793
負債の部		
流動負債	12,905	13,434
固定負債	4,642	4,683
負債合計	17,548	18,118
純資産の部		
株主資本	24,144	23,359
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	2,244	2,244
利益剰余金	20,665	19,879
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	2,395	3,272
非支配株主持分	38	43
純資産合計	26,578	26,674
負債及び純資産合計	44,127	44,793

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としており、前期末についても科目名を統一しております。

ポイント (前期末比)

● 資産の部			
流動資産	△671	現金及び預金 受取手形及び売掛金 たな卸資産	+1,609 △2,222 △167
固定資産	+5	投資有価証券 その他の投資等 有形固定資産 無形固定資産	△131 △147 +234 +29
● 負債の部			
流動負債	△528	未払費用 支払手形及び買掛金 未払法人税等	+374 △574 △252
固定負債	△40	短期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む) その他の固定負債 役員退職慰労引当金 長期借入金	△133 +312 △230 △124
● 純資産の部	△95	利益剰余金 為替換算調整勘定 退職給付に係る調整累計額 その他の有価証券評価差額金	+785 △693 △93 △89

四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	18,787	18,318
売上原価	13,293	13,205
売上総利益	5,494	5,113
販売費及び一般管理費	4,269	4,198
営業利益	1,225	915
営業外収益	495	232
営業外費用	265	31
経常利益	1,455	1,116
特別利益	1	9
特別損失	91	15
税金等調整前四半期純利益	1,365	1,110
法人税、住民税及び事業税	408	303
法人税等調整額	17	△61
四半期純利益	938	868
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	942	871

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」、「少数株主損失」を「非支配株主に帰属する四半期純損失」、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としており、前第2四半期連結累計期間についても科目名を統一しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,158	790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△873	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△419	△510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△247	241
現金及び現金同等物の増減額	1,617	△27
現金及び現金同等物の期首残高	8,497	7,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,115	7,544

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社  
 本社 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町七丁目2番10号  
 創業 1923年10月1日  
 設立 1980年4月1日  
 資本金 12億36百万円  
 従業員数 1,917名 (連結) 596名 (単体)  
 連結子会社 国内5社、海外9社  
 事業内容 ●船舶用システム製品  
 配電制御システム、集合始動器盤  
 機関監視制御システム  
 高圧配電盤  
 停泊中船舶への陸電供給システム  
 船員教育用エンジンルームシミュレーションシステム  
 ●産業用システム製品  
 配電制御システム、コージェネレーションシステム  
 電子応用製品、高圧配電盤  
 ●機器 (プレーカ) 製品  
 配線用遮断器、漏電遮断器、気中遮断器  
 多線貫通システム (ケーブル貫通部の総合防災品)  
 ●医療関連機器製品  
 医療機器、臨床検査機器  
 ●エンジニアリング及びライフサイクルサービス  
 当社製品の保守・メンテナンスサービス  
 機械設備の設計・構築等のエンジニアリングサービス

● 役員

代表取締役会長 藤田 正一  
 代表取締役社長 寺崎 泰造  
 常務取締役 周藤 忠 機器事業担当  
 常務取締役 岡田 俊二 システム事業担当  
 取締役 池田 康孝 経営企画・技術・情報開示担当  
 取締役 熊澤 和信 人事・総務担当  
 取締役 長瀬 順治 経理担当  
 取締役 西田 昌央 エンジニアリング・ライフサイクル事業担当  
 取締役 赤木 孝史 常勤監査等委員  
 取締役 友杉 芳正 監査等委員 (社外)  
 取締役 鷹野 俊司 監査等委員 (社外)

● 株式の状況

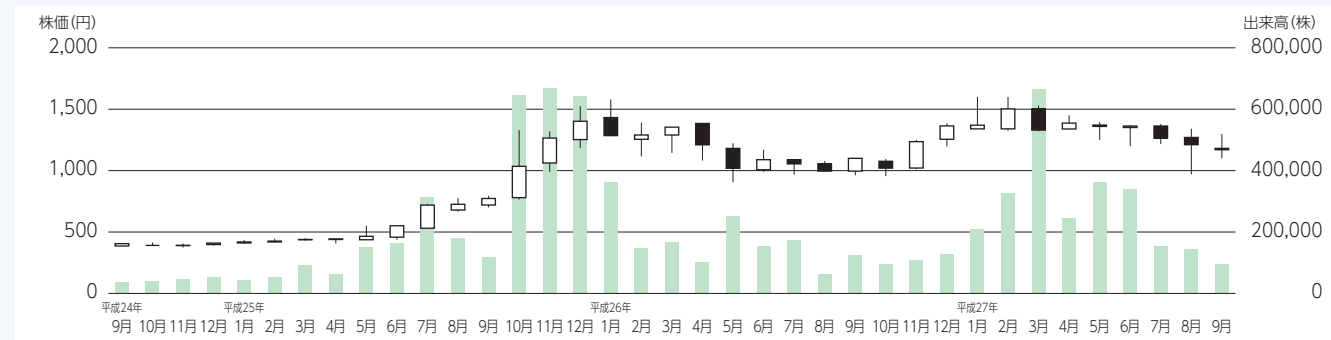
発行可能株式総数 ..... 52,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 13,030,000株  
 株主数 ..... 717名

● 大株主の状況 (上位10名)

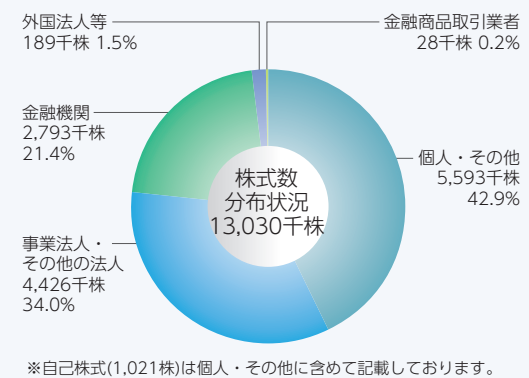
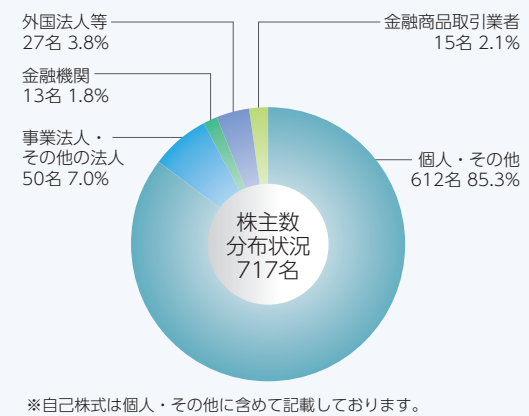
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社 寺崎	2,200	16.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,320	10.14
寺崎 泰造	1,107	8.50
浪華 振興 株式会社	866	6.65
荒巻 かおり	730	5.60
テラサキ従業員持株会	725	5.56
寺崎 雄造	669	5.14
株式会社 芳山社	653	5.02
テラサキ共栄会	558	4.29
有限会社 アーク	400	3.07

(注) 持株比率は自己株式(1,021株)を控除して計算しております。

● 株価/出来高の推移 (東京証券取引所)



● 所有者別分布状況



# 機器（ブレーカ）製品

## 低圧サーキットブレーカ市場で世界のトップ5のシェアを取る

機器（ブレーカ）関連子会社

【株式会社耶馬溪製作所】

株式会社耶馬溪製作所は、1973年（昭和48年）寺崎電気産業株式会社の出資比率100%の小型MCCB（配線用遮断器）の製造子会社として、大分県下毛郡耶馬溪町（現中津市）で創業いたしました。中津市は、黒田官兵衛で一躍皆様に知られるところとなり、当社は中津市のなかでも耶馬日田英彦山国定公園内に位置しております。



主力製品として、100A～800Aフレームの配線用遮断器と漏電遮断器及び付属機器を生産し、『かけがえのない人命と財産を危険な電気事故から保護する』ことを使命として、社会に貢献してまいりました。また、『お客様に安全・安心・そして快適をお届けする』ことを目指し、国際品質保証規格である「ISO9001（品質マネジメントシステム）」の認証を取得し、品質レベルのたゆまぬ向上に努めております。併せて、国際環境標準規格である「ISO14001（環境マネジメントシステム）」及び「OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）」の認定を取得し、環境有害物質の使用削減または廃止、生産活動面での省エネルギー、廃棄物の削減、資源の有効利用及び職場の安全と健康の確保に積極的に取り組んでいます。

### 高度な技術力で生産する製品

配線用遮断器は15A～1000Aフレーム、漏電遮断器は15A～800Aフレームの豊富なラインアップ。

電子式ブレーカは、保護特性設定が簡単な標準タイプと、液晶画面に電流、電圧、電力などを表示して、これらのデータを送信できる高機能タイプの2種類があります。



### 豊富な技術力と最新の機械での一貫した生産体制

当社では、遮断器に欠かせないプラスチックの成形加工などの部品レベルの製作から組立、検査まで一貫した生産体制により、受注から生産、発送に至るまでのリードタイム短縮を図り、お客様のニーズにお応えすると共に、安定した品質確保に努めております。



### 地域に根付いた企業運営

当社は、地域に根付いた生産活動、企業運営を目指しています。日頃、地域の防災活動に積極的に参加していることから、先日中津市長より中津市消防団協力事業所に認定されました。過去には当時の耶馬溪町（現中津市耶馬溪町）より、弊社のブレーカが大分県の一村一品として登録されたこともあります。今後も地域とともに発展する企業、また地域卒業生を幅広く雇用し、教育訓練、OJTを通じて世界に通用する人材を育て、50年・100年と続く企業を目指してまいります。